

業務視点からのDX実現コミュニティ第4期

26年度活動の研究会紹介-1

業務変革研究ワーキンググループ

2026年8月24日
中津 裕太郎
(株) 島津製作所



1 | DXと業務変革

経済産業省のDX定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、**業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革**し、競争上の優位性を確立すること

(出典：経済産業省デジタルガバナンス・コード2.0 P1注釈)



DXのなかで、業務変革は単なる手段ではなく、価値を生むための中核テーマです

2 | 本ワーキンググループのテーマ

ビジネス変革を「自社業務のあるべき姿」に翻訳する

ビジネス変革の事例を題材に、
自社業務の変革につながる問いを持ち帰る

見る

事例企業のビジネスの変化を
業務の視点で読み解く

比べる

自社の業務と照らし合わせ、
変わりそうな業務・変えるべき業務
を議論する

問いを探す

すぐ答えを出すのではなく、
社内で深掘りすべき問いを探す

3 | なぜこのテーマか

DXは「デジタル技術を入れること」だけではなく、ビジネスや業務のあり方そのものを変えていく取組です
だからこそ、まず業務視点でどんな問いを立てるべきかを考えたい

事業環境が変わる

顧客価値や提供方法が変わると、これまでの
当たり前の業務も見直しが必要になります

業務のあるべき姿が見えにくい

DXではツールやシステムの議論が先行しがち
です。手段を議論する前に自社業務をどう
変えるべきかを言葉にする場が必要です

一人だけでは考えきれない

未来の業務は一人の視点だけでは描けません。
ビジネス変革の事例を題材に、参加者同士の
対話を通して、業務変革につながる問いを探し
ませんか

このワーキンググループでは「正解を教わる」のではなく、事例を題材に、業務変革につながる問いを一緒に探します

4 | DXを業務視点で考えたい方、一緒に考えませんか

参加者同士が現場の困りごとを持ち寄り、考えるべき問いを持ち帰るワーキンググループです

DXを業務の言葉で語りたい方

システム導入やツール活用だけでなく、
業務の何を変えるべきかを考えたい方

部門を越えて議論したい方

自部門だけでは見えない論点を、
他社・他部門の視点から確認したい方

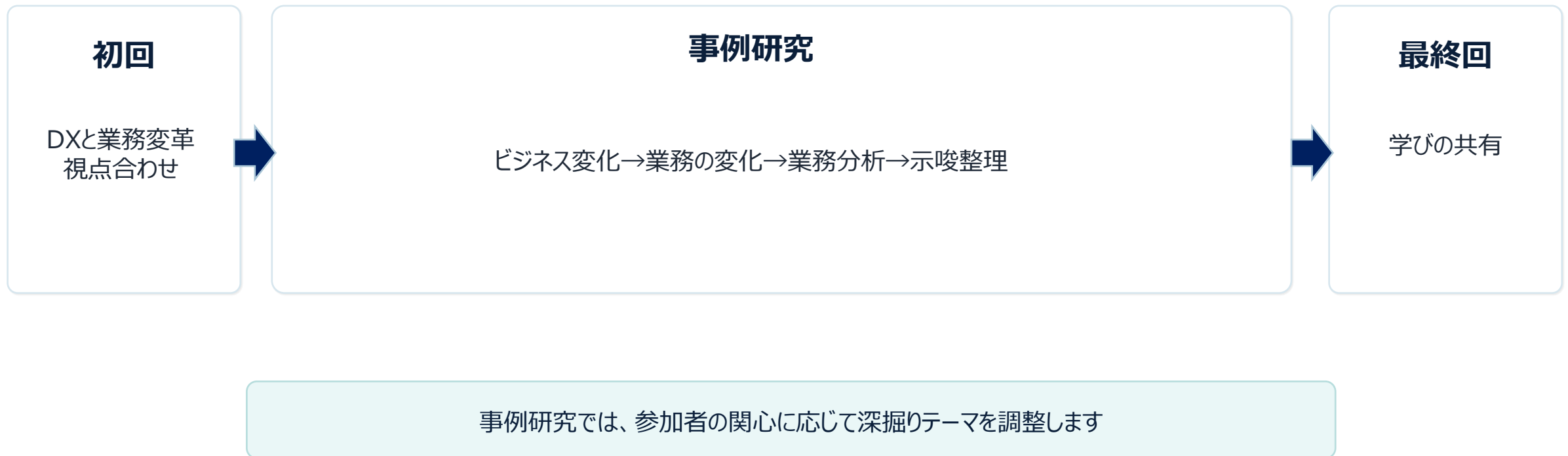
自社に持ち帰る問いを見つけたい方

事例を聞いて終わりにせず、自社で議論を
始めるための切り口を得たい方

到達イメージ：自社業務の「今の姿」「あるべき姿」「変えるための問い」を言葉にできる

5 | 進め方

ビジネス変革事例を題材に、自社に引き寄せる問いを考えていきます



(期間：2026.10～2027.3／全8回予定)

6 | 事例研究での業務分析の一例

事例に出てくるビジネスの変化を、業務の変化として読み替えると、自社で議論すべき論点が見えてきます

Before : これまでの前提

製品・サービスの提供方法、顧客接点、社内分担がどのような前提で成り立っていたかを整理する

After : 変化後の姿

価値提供の形が変わったとき、どの業務が新しく必要になり、どの業務の重要度が変わるかを考える

自社への問い

自社の業務変革では、どのような問いに対処していく必要があるかを考える

ビジネスの変化

業務の変化

自社の問い

分析の狙い : 事例を他社の話で終わらせず、自社の業務変革につなげる

7 | 一緒に考えませんか

DXを業務視点で考える仲間として、一緒に問いを持ち寄りませんか

問いを持ち寄る

自社の業務で
・何が変わりつつあるのか
・何を変えるべきか

視点を交差させる

他社・他部門・専門家の見方を重ね、
思い込みを外す